

エコ×エネ体験ツアー水力編@奥只見小学生親子ツアーレポート

B行程はこちらでご報告いたします！

★B 日 程★

日 程：平成29年8月24日（木）～8月25日（金）

参加者数：35人：15組（30人）のご家族とプログラムアドバイザー2名、オブザーバー1名、取材2人

今年の奥只見編は8月の終わりの日程になってしまいました。夏休みも終了直前、皆来てくれるかな？ドキドキ。。B行程では、Jパワーグループ若手社員が「リーダー」として参加しました。A班：りっくん、B班：ざっく、C班：どっひー、D班：なんちゃん の4名とも、普段は埼玉県川越市で働いています。

まずは越後湯沢駅でみなさんをお迎えします。



○リーダーだって緊張します。



○改札前で皆を待つドクター。



○ようこそエコ×エネへ！スタッフのご案内します。



皆集まったらバスに乗り込み、集合するといよいよ奥清津発電所へ向けて出発！バスはずんずん山の上へ向かって進んでいきます。

バス車中は、キープ協会の「ますやん」の進行で進みます。今の自分の気分を表したり、あと出しじゃんけんをしたり、手を使ったプログラムで準備体操です。



○大人も苦戦するあと出しじゃんけん。頭がこんがらがっちゃうかな…

バスは奥清津発電所（OKKY）に到着しました。まだまだ緊張気味のみんなの雰囲気を和らげるために、「アイスブレイク」を行います。



○親子で握手してみましよう。意思疎通できるかな？

続いてはお題に沿って円になります。背の順、名前の順、誕生日の順。皆で協力して並べるかな？



○ただし声は出しちゃダメ！身振り手振りで誕生日を伝えます。



○誕生日が同じ人も見つかりました！一気に親近感がわきます。

研修室に戻ったらお昼ご飯の時間です。奥只見で売出し中？の「開高飯」は、甘辛の肉と山菜ピラフが美味しいごはんでした。ここで班の中でも自己紹介。皆どこから来たの？地元が近い！なんて発見も。

これから発電所見学に出発！奥清津発電所の西野所長代理、釘持さん宜しくお願いします！



出発の前に水力発電の仕組みについてドクターの実験で予習します。



○ペットボトルのダムに貯めた水で発電成功！

電気が生まれる仕組みわかったかな？では実物を見に行きましょう！



○二居ダムをバックに記念撮影！

薄暗いトンネルは「水の路」とよばれる通路。発電所につながる水路を建設した時に用いたトンネルが、見学用に残されているのです。



○これから不思議なトンネルに入りますよ～



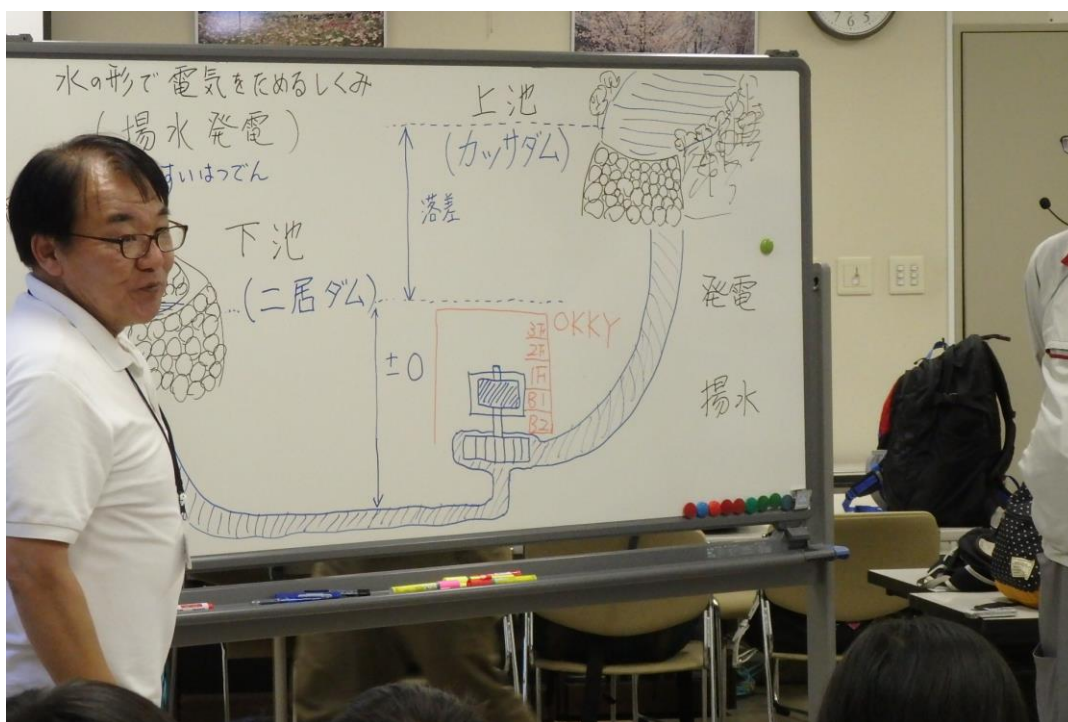
○中は薄暗くてひんやりしていました。奥まで進むと「水圧鉄管」と呼ばれる巨大な管に触れました。



○発電所の中では発電機の組立フロアや、発電所を運転する配電盤、発電機と水車をつなぐ軸を見学しました。



○もう一度実験でおさらいです。実験模型に比べると、発電所の中で見た本物の機械はとて大きかったですね！



○研修室に戻って、キャップから電気のお話。電気の特徴に関するクイズをしたあと、奥清津発電所は「揚水」といわれる特別な発電所だということを知りました。発電に使った水は下の池に貯められて、電気が余っている時には、上の池まで汲み上げているそうです。



○電気のクイズもありました。

難しいこともありましたが、みんな一生懸命説明を聞いていました。
お土産にダムカードとオッキーマスコットのプレゼントです。



最後に、「二居ダム」を見学しました。エメラルドブルーのダム湖と、ゴツゴツの岩でできたダム。近づいてみると、意外と大きいし、高さもありますね。



○発電を終えた水をためる「下池」に当たります。



○ダムから見える設備、解説してもらいました。



○見学お疲れ様でした！

さて、一行はバスで奥只見へ！うとうとしているうちに、高速を降りバスはあっという間に奥只見に近づいていきます。では奥只見に到着する前に、準備体操をしましょう！「伝説の！奥只見！クイズ！」



○あっきーの掛け声でクイズは始まりました。



○奥只見ダムは何県にあるでしょう？ゲー・チョコキ・パーで答えてね！

トンネルを抜けたら、「身近な秘境・奥只見」へ到着です！

大きな奥只見ダムの真正面にある、緑の学園に到着しました。まずは夕食で腹ごしらえ。
新潟県コシヒカリ、おかわり自由ですよ！



○地元食材もたっぷり。いただきます。

食べ終わった後には、簡単に自己紹介をしながら、このツアーで楽しみにしていたことなどを話しました。

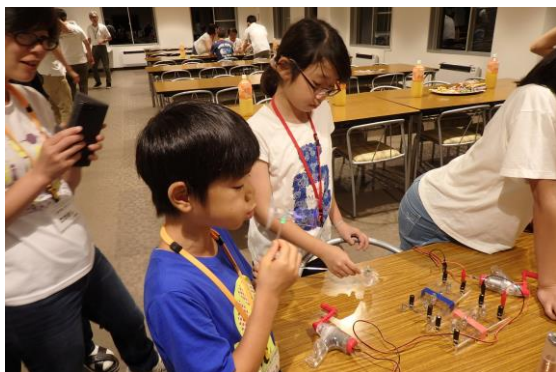


夕飯の後は「ナイトハイク」の時間です！ナイトハイクを一番楽しみにしてくれていた方も、たくさんいました。

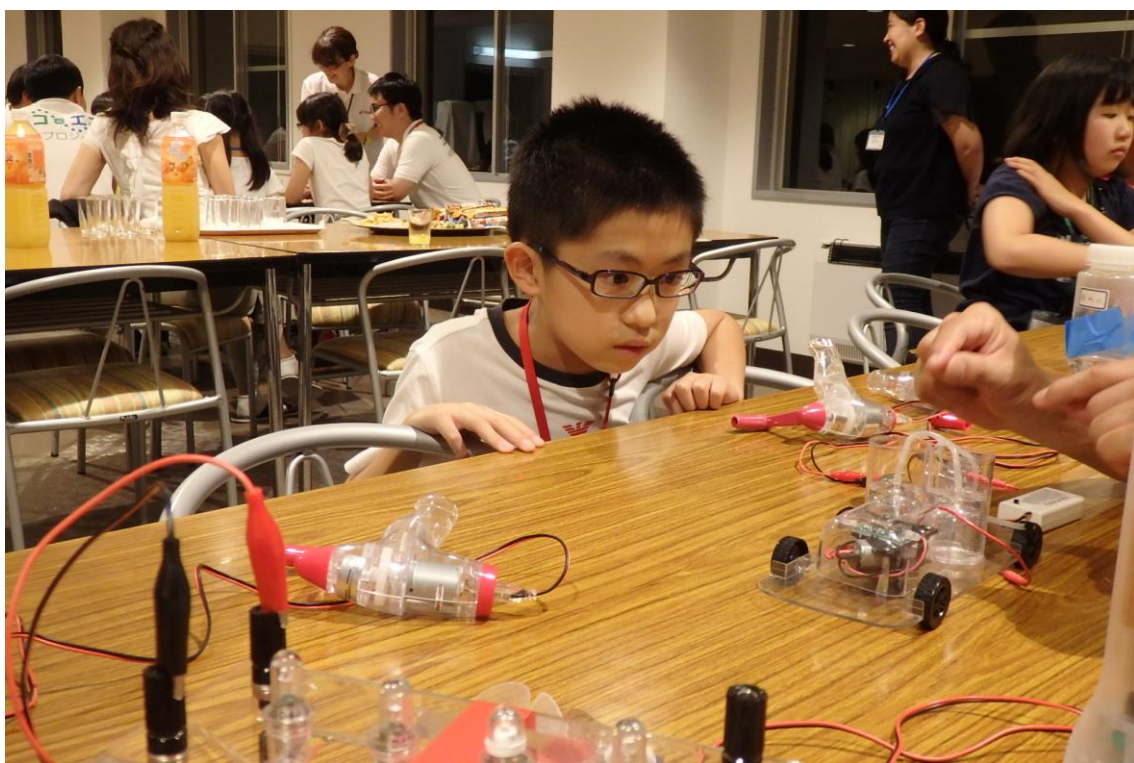
宿の灯りも消して真っ暗の中、進んでいきます。「これからの時間は動物さんたちの時間なので、驚かせないように静かに進みましょう」と、おののとあっきーが、キツネの歩き方を教えてくれました。

夜の風やにおいを全身で感じていると、ふと気づくと雲の切れ間から星空が…！普段は見られない星空に驚きの声があがりました。

緑の学園に戻ってからは交流会！発電実験グッズや電気のすごろくで遊びました。



○手回し発電や風力発電に挑戦！



○燃料電池車を見つめる熱いまなざし・・・



○かるたやすごろく、リーダーと一緒に盛り上げました。（大人チームも遊んでました）

さあ、明日は早いので、夜はしっかり休んでね！

雨が降るかな？と心配していましたが、何とか持ちこたえました。朝散歩に出発です。奥只見の朝、山にかかる霧が美しいです。



○川の音、虫の声に耳を澄ませます。



○草笛を教わりました。うまく音が出るかな？成功すると高い「プープー」という音が出ます。



○ヤマブドウも見つけました。もっと熟すると、動物たちの餌になります。



○草を使った遊び方、いろいろありますね。

朝ごはんのあとは、緑の学園に別れを告げ、奥只見ダム見学に向かいます！が…雨が強くなってきました。なので今回は、ちょっと離れたところからダムを見学しました。



○コンクリートの巨大なダム。1日目に見た奥清津の二居ダムと比べてどう違うかな？

ダムが川をせき止めて出来たダム湖を遊覧船で渡り、ブナの森がある「銀山平」へ向かいます。船の中ではビンゴゲームを行いました。エコ×エネのビンゴでは、船から見つけたものでマス目を埋めていきます！



○ダム湖をゆっくり進んでいきます。



○虫はいた？鳥は飛んでる？滝も見えるかな？

船は無事、銀山平へ到着。森に入る前に、まずは葉っぱを使ったじゃんけんを行います。色や形、におい、手触り・・・葉っぱの特徴を使ったじゃんけん。勝負に勝つには、観察が大事。どの葉っぱなら勝てるかな？真剣に見極めます。



○相手の葉っぱと比べてどうかな？





においを嗅いだり、光にかざしたり…

いよいよブナの森へ！葉っぱのじゃんけんと同じく、五感を使いながら進んでいきます。
あんなに雨が降ったのに、森の中には水たまりがほとんどありません。降った雨はどこに
行ったのかな？



○ヒントはふかふかの落ち葉！



雨に誘われてキノコがあちこち顔を出します。



○ブナの葉っぱや幹の特徴を教わったり、実や赤ちゃんの木を探したり…

途中で一旦ストップ。皆で目をつぶって、「イモムシ」になって歩いていきます。



○足の感覚だけを頼りに進みました。

さあ目いっぱいブナの森を味わったところで、いよいよ「まとめのワークショップ」の時間です。



○ドクターとやっさんでお送りします、実験教室のはじまりです～（パチパチ）



○ペットボトルの実験器具、何だろう？ドキドキ。



○「ぴょーん」これは海老？土の中には「エビ」によく似た虫もいる！



○森の土とグラウンドの土に雨が降ると？自然で起きていることを早回しで実験です。



○森が集合すると、降った雨が地下水になって流れました。

電気をつくるために、森や水がどのように関わっているか、実験で明らかになりました。

最後は二日間をふりかえって、感じたことや思ったことを「ブナへの手紙」に書きました。これにて全てのプログラムは終了！2日間、森と水と電気の秘密のつながりを体験するツアー、いかがだったでしょうか？見たこと、聞いたこと、自分で考えたこと、1つでも忘れずに残っていれば嬉しいです。

来年もたくさんの方と奥只見で会えるのを、楽しみにしています！